

北星中学校 CAN-DO リスト | 年生

1年生学年末の目標

Listening	Reading	Spoken Interaction	Spoken Production	Writing
はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができる。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。(～200語程度)	関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。	関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて話すことができる。	関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。(～40語程度)

領域	目標	単元	
Listening	はっきりと話されれば ア 人の紹介や先生の伝達事項など日常的な話題について、必要な情報を捉えることができる。	Let's Listen 1 Let's Listen 2	
	イ 過去の出来事や思い出など日常的な話題について、その概要を捉えることができる。	Unit 10 Let's Listen 3	
Reading	ア メールでのやり取りなど日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものを読み、必要な情報を捉えることができる。	Let's Read 1	
	イ 簡単な語句や文で書かれた物語文を読んで、そのあらすじを捉えることができる。	Learning Literature in English Let's Read 2	
	ウ 貧困など社会的な話題について簡単な語句や文で書かれた短い文章を読んで、その要点を捉えることができる。	Unit 9	
Speaking	Spoken Interaction	ア 普段することや好きなもの、あこがれの人や過去の出来事など関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。	Unit 1 Unit 4 Stage Activity 2 Unit 10
		イ 許可を求める、体調や道順を訪ねる、レストランで注文するなど日々の生活に関わる話題や、身近な人、好きなキャラクターなど日常的な話題について、事実や自分の考えを伝え、気持ちなどを整理して、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	Let's Talk 1 Unit 7 Let's Talk 2 Let's Talk 3 Let's Talk 4
Speaking	Spoken Production	ア 身近なものや人、行った場所やそこで楽しんだことなど関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて話すことができる。	Unit 2 Unit 5
		イ 家族や友達など身近な人の紹介や学校生活のレポート、思い出に残った学校行事など日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。	Unit 6 Unit 8 Stage Activity 3
		ウ 世界的な問題や地域の問題など、社会的な話題について読み、それについて考えたことや感じたこと、その理由等、ポスターなどを用いて話すことができる。	Unit 9
Writing	ア 自分が好きなことや友達へのメッセージカードなど関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。	Stage Activity 1 Let's Write 1 Unit 3	
	イ 思い出の出来事について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句を用いて絵はがきや日記、スピーチ文などを書くことができる。	Let's Write 2 Unit 11 Stage Activity 3	

※網掛けの題材は学校の年間計画に応じて変更する。

各単元との関連

単元	学習到達目標	Listening	Reading	Speaking		Writing
				SI	SP	
0	□小学校で習った表現を使ったり、単語を読んだり書き写したりすることができる		(小ア)			(小ア)
1	□おたがいのことをよりよく知るために、自分がふだんよくすることや、できることを伝えることができる。	ア		ア		
2	□おたがいのことをよりよく知るために、身近な人やものについて紹介したり、たずねたりすることができる。	ア			ア	
3	□疑問に思うことを知るために、いつ・どこなのかをたずねたり、数をたずねたりすることができる。	ア		ア		
4	□おたがいのことをよりよく知るために、相手に指示したり、時刻や好きなものをたずねたりすることができる。	ア		ア		
5	□相手に自分のことを知ってもらうために、行った場所や、そこで楽しんだことなどについて話すことができる。		ア		イ	
SA 1	□相手に自分のことを知ってもらうために、自分の好きなことについて、つながりのある文章を書くことができる。		ア			ア
PT 1	□相手に知ってもらうために、自分の関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。				ア	
6	□友達のことをほかの友達に知ってもらうために、自分と相手以外の人やものなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。	ア	ア		イ	
LT 1	□身近な人に許可を求めたり、依頼したりすることができる。				イ	
7	□キャラクターについてよりよく知るために、自分と相手以外の人について話したり、どちらなのか、だれのものかをたずねたりすることができる。	ア		イ		
LT 2	□相手の体調についてたずねたり、自分の体の不調について説明したりすることができる。				イ	
LL 1	□人に関する紹介を聞いて、基本情報やその人がどのような人かを理解することができる。	ア				
8	□現在の状況を伝えるために、今していることについて説明したり、たずねたりすることができる。	ア			ア	
LW 1	□目的に合わせたカードを書くことができる。					ア
9	□世界や地域の問題を伝えるために、したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、たずねたりすることができる。		ウ		ウ	
LT 3	□徒歩での道順をたずねたり、教えたりすることができる。				イ	
LL 2	□友達にあとで伝えるべき情報を聞き取ることができる。	ア				
SA 2	□相手に自分のことを知ってもらうために、好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり、説明したりすることができる。			ア		
LR 1	□図や表などの情報を参考に、書き手の考えを読み取ることができる。		ア			
PT 2	□相手に知ってもらうために、自分の友人の関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。				ア	
10	□冬休みの思い出を伝え合うために、過去の出来事について説明したり、たずねたりすることができる。	イ	イ	ア		
LW 2	□旅先からの絵はがきを書くことができる。					イ
11	□思い出を残すために、過去の状態や気持ち、過去のある時点にしていたことについて説明することができる。		イ	ア		イ
LT 4	□レストランなどで、注文をしたり質問に答えたりすることができる。				イ	
LL 3	□休暇の思い出など日常な話を聞いて、主な内容を聞き取ることができる。	イ				
SA 3	□おたがいのことをよりよく知るために、思い出に残った学校行事について発表することができる。				イ	イ
Learning LITERATURE in English	□英語で書かれた文学作品を聞いて話の概要を捉え、物語の構成を理解することができる。		イ			
LR 2	□物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解することができる。		イ			
PT 3	□相手に知ってもらうために、自分の年末の行動について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。				ア	

※太枠の領域は記録に残す評価とする。それ以外の領域は指導に生かす評価とし、後日ペーパーテスト等で評価する。